



地域ぐるみでごみ減量

蚕糸の森まつりで「小型家電」を回収します(取材のご案内)

26日、区立蚕糸の森公園(和田3-55-30)では、地域ぐるみでごみの減量を進めるため、希少金属が含まれる携帯電話やデジタルカメラなどの回収を行います。また、新たな取り組みとして、賞味期限に余裕のある食品を持ち寄ってもらい食品ロスを防ぐ取り組みも行います。

杉並区の区民一人1日あたりのごみ排出量は、平成23年度以降、5年連続して23区で最少を記録しています。しかし、ごみの最終処分場は中央防波堤埋立地のみで、その寿命も50年あまりと言われていることから、さらにごみの減量やリサイクルの推進が必要になっています。ごみの減量には、区民の理解と協力が欠かせません。そこで、地域のイベントなどでは、清掃部門の職員などが積極的に参加し、ごみの分別方法やリサイクルをPRしています。

3月26日午前10時から午後3時に、区立蚕糸の森公園で開催される蚕糸の森まつりは、30年の歴史を持っています。地域の不燃化とともに、防災拠点として整備された公園で、地域住民が顔馴染みになって災害時にも助け合いができるような関係をつくることがお祭りの目的です。このように地域のことを率先して考えている住民が多く集まるイベントなので、区からも担当者がブースを設け、小型家電や食品の回収を行うことにしました。

小型家電の回収は、平成25年10月からスタートしています。携帯電話やデジタルカメラ、ゲーム機、電子辞書、電卓、電話機、ラジオなど15品目を回収していますが、その部品には、金や銀、銅、白金、パラジウムなどの希少金属が使用されていて、都市鉱山などと呼ばれています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックの組織委員会は、こうして回収した金属で入賞メダルを作る方針も示しています。

杉並区の小型家電の回収には、ごみの減量やリサイクルのほかに、若者の就労支援という大きな目的も持っています。分解作業などの就労体験を通して、働く自信をつけてもらい、就労をめざすための訓練の場にもなっています。事業開始から約3年間で、延300名が作業にあたり、30,000kgほどの希少金属等を回収し、売却してきました。

また、今回が初めての取り組みとなりますが、開封しないまま家庭に保管されている食品を寄付する「フードドライブ」をあわせて実施します。集まった食品は、今回、NPO法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて、必要とされている方々に届けられることになっています。

【問合せ先】

環境部ごみ減量対策課 3312-2111 内線3721

ご家庭に眠る

未利用食品を集めます！

～フードドライブにご協力ください～



3月26日(日)

10時30分～14時30分

集める場所 蚕糸の森まつい会場

蚕糸の森公園・杉並第十小学校 (杉並区和田3-55-49)

※雨天の場合は杉並第十小学校体育館で実施します

いただきものやつい買いすぎてしまったものなど、開封しないまま家庭に保管されている食品はありませんか？杉並区では、ごみ減量の課題の一つでもある食品ロスの削減と、食品等の有効活用のため、フードドライブ(*裏面参照)を実施します。

ご家庭で消費しない食品がありましたら、ぜひ当日直接会場へお持ちください！

お持ちいただきたい食品

- インスタント食品・レトルト食品 (インスタントラーメン、カップ麺、カレー、スープ、米飯など)
- 米 (精米から2年以内のもの)
- 缶詰
- 乾物・乾麺 (海藻、高野豆腐、干しいたけ、パスタ、そうめんなど)
- 粉物 (小麦粉、片栗粉、ホットケーキミックスなど)
- 調味料 (食用油、しょうゆ、味噌、砂糖など)
- 菓子・飲料 (アルコール類は除く)
- 乳児用食品 (粉ミルク、ベビーフード、離乳食など)

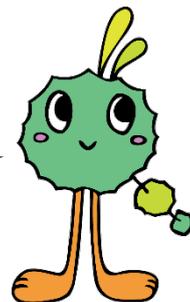
お持ちいただく食品の条件

- 1 **未開封**で、包装や外装が**破損していないもの**
- 2 **びん詰でないもの** (破損の恐れがあるため)
- 3 **冷蔵、冷凍が必要でないもの** (冷蔵、冷凍設備を備えていないため)
- 4 賞味期限が**平成29年(2017年)5月1日以降**で、**明記**されているもの

※お持ちいただいた食品は、受け取りの際に種類や条件などを確認させていただきます。

その際、食品の状態によってはお持ち帰りいただく場合があります。

1～4 すべての条件に
該当しているかな？



問い合わせ
杉並区環境部
ごみ減量対策課事業計画係
電話 03-3312-2111

*フードドライブとは？

※ドライブ〈drive〉・・・活動、運動、キャンペーンといった意味で使われています。
家庭で余っている食品等を持ち寄り、広く地域の福祉団体や施設等に寄付するボランティア活動です。
集まった食品等は、今回はNPO 法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて必要とされる方に届けられます。

フードドライブ Q&A

戸棚の中を
のぞいてみてね！



Q1 フードドライブで集まった食品等は、最終的にどうなりますか？

A1 今回は、セカンドハーベスト・ジャパン (<http://2hj.org/>) が、その管理する保管場所に一旦集荷し、食品等を必要としている地域の福祉団体や施設等へ責任をもって届けます。なお、届け先については、杉並区内と限定されません。

Q2 冷凍・冷蔵食品は、なぜ対象外なのですか？

A2 冷凍・冷蔵食品を引き取るためには、会場まで適切な保存方法（冷凍・冷蔵）を維持したままお持ちいただく必要があります。また、会場内でも適切な管理（会場への冷凍・冷蔵設備の設置及び搬送用の保冷車）が必要になり、その対応が困難であるため、対象外とさせていただきました。

Q3 一般的に砂糖や塩は、長期保存が可能のため（商品の包装に）賞味期限が明記されていませんが、対象食品となりますか？

A3 砂糖や塩は、（商品の包装に）賞味期限が明記されていなくても、ほかの条件を満たしている場合はお持ちいただいて構いません。

Q4 条件に「包装や外装が破損していない」とありますが、中身に影響がない程度の破損であれば、対象食品となりますか？

A4 中身にもよりますが、例えばレトルト食品のように、箱の中の袋に破損がなければ、箱が破損していてもお持ちいただく食品の対象となります。ただし、賞味期限の表示が見えない破損については対象外とさせていただきます。

Q5 びん詰の食品は、対象食品として持っていきることができないのはなぜですか？

A5 集めた食品を保管場所へ運搬する際に、びんが割れてしまい品質に影響が出る恐れがあるため、対象外とさせていただきます。

